



(写真) Shutterstock “2025年 日本とベネズエラの貿易実績。輸出・輸入ともに大きく増加”

日本ベネ貿易統計（25年）

株式会社ベネインベストメント
松浦 健太郎

今回は、2025年の日本とベネズエラの貿易実績について確認したい。

「ベネズエラ自動車商工会 (CAVENEZ)」によると、2025年の新車販売は38,610台。24年の17,558台から2倍以上に増えた。新車販売増に伴い、自動車関連の輸出が多い日本のベネズエラ向け輸出も大きく増加した。

また、ベネズエラの主力輸出品であるカカオ豆の日本向け輸出も大きく増加。両国の貿易額を押し上げた。

新車販売増に伴いベネズエラ向け輸出も増加

最初に日本のベネズエラ向け輸出から確認したい。

2025年の日本のベネズエラ向け輸出額は年間9566.4万ドル。前年の6970.3万ドルから37.2%増となった（次ページの表参照）。

輸出増の主な要因は、「自動車関連製品」の輸出増加。ベネズエラ国内で新車販売が増加する中、関連製品の輸出も増加した。

完成車（乗用自動車、その他の自動車）は前年比41.5%増の4828.7万ドル。同項目が輸出額の50.5%と半分超を占めている。

表：日本のベネズエラ向け輸出額推移（2022年～2025年）

（単位：千ドル、%）

	品目	2022年	2023年	2024年	2025年	割合	前年比 増減率
1	自動車（鉄道以外）及びその部分品等	21,598	43,719	48,239	69,438	72.6	43.9
	乗用自動車その他の自動車	14,066	34,388	34,136	48,287	50.5	41.5
	農用自動車	3,885	3,231	7,503	10,484	11.0	39.7
	原動機付きシャシ	828	1,278	1,947	4,110	4.3	111.1
	部分品及び附属品	1,567	2,292	2,973	3,881	4.1	30.5
	モーターサイクル	1,084	2,443	1,581	2,598	2.7	64.3
	その他	168	87	99	78	0.1	△ 21.2
2	原子炉、ボイラー及び機械類・部分品	7,577	8,496	13,028	15,204	15.9	16.7
	ピストン式火花点火内燃機関	3,678	4,637	6,267	7,666	8.0	22.3
	第84.07項、第84.08項のエンジンに使用する部分品	516	868	979	1,928	2.0	96.9
	ギヤボックスその他の変速機、伝動軸等	342	462	1,095	1,606	1.7	46.7
	ガスケットその他これに類するジョイント等	311	416	510	985	1.0	93.1
	その他	2,730	2,113	4,177	3,019	3.2	△ 27.7
3	分類不能の品目	626	1,242	1,748	3,528	3.7	101.8
4	ゴム及びその製品	1,866	1,181	1,657	2,140	2.2	29.1
	ゴム製の空気タイヤ（新品に限る）	1,709	954	1,305	1,925	2.0	47.5
	その他	157	227	352	215	0.2	△ 38.9
5	電気機器、録音機及びこれらの部分品	338	725	831	1,374	1.4	65.3
	火花点火式又は圧縮点火式の内燃機関の点火又は始動に使用する種類の電気機器	142	285	395	670	0.7	69.6
	その他	196	440	436	704	0.7	61.5
6	光学機器、測定機器及びこれらの部分品	767	826	801	1,023	1.1	27.7
7	鉱物性燃料、鉱物油、これらの蒸留物等	7	343	563	808	0.8	43.5
8	各種の化学工業生産品	480	879	468	731	0.8	56.2
9	石、プラスター、セメント、石綿、雲母等	100	69	230	371	0.4	61.3
10	鉄鋼製品	295	312	355	342	0.4	△ 3.7
	その他	538	1,249	1,783	705	0.7	△ 60.5
	合計	34,192	59,041	69,703	95,664	100.0	37.2

（出所）International Trade Center（ITC）

次いで「貨物自動車」が前年比39.7%増の1048.4万ドル。「原動機付きシャシ」が同111.1%増の411万ドルと輸送機器関連の輸出が増加していることが分かる。

また、品目別で2番目になる「原子炉・ボイラーおよび機械類・部分品」も最も輸出が多かったのは「ピストン式火花点火内燃機関」の766.6万ドル(同22.3%増)と自動車関連の製品である。

他、輸出品4番目の「ゴム及びその製品」もその多くは「ゴム製の空気タイヤ(新品に限る)」で、前年比47.5%増の192.5万ドル。これも輸送機器関連の製品である。

2022年から2025年までの日本からの輸出推移を確認すると、毎年着実にベネズエラ向け輸出は増加している。

ベネズエラの新車販売が増加すると、日本のベネズエラ向け輸出も増加する傾向が見て取れる。

2026年はベネズエラ経済のプラス成長が予想されており、今年も日本のベネズエラ向け輸出の増加が期待される。

カカオ豆輸入が前年比481.4%増

次に日本のベネズエラからの輸入実績について確認したい。

2025年の日本のベネズエラからの輸入額は合計で5775.3万ドル。前年の1555.2万ドルから271.4%増と4倍近い増加となった。

輸入増の主な要因は、ベネズエラ的主力輸出品である「カカオ豆」。

2025年の日本のカカオ豆輸入は、前年比481.4%増の5169.7万ドル。同製品がベネズエラからの輸入額全体の89.5%と9割近くを占めた。

カカオ豆以外の品目輸入額はそこまで大きくないが、2番目は「銅のくず」が309万ドル(前年比47.1%増)。

3番目は「魚・甲殻類・軟体動物(特に魚のフィレ、軟体動物)」で106.4万ドル(同128.3%増)。特に「魚のフィレその他の魚肉」の輸入は大きく増えた。

4番目は「アルミニウム及びその製品」で前年比74.1%減の94.8万ドル。2022年から同製品の輸入額は少なくとも100万ドルを超えていたが、25年は伸び悩んだ。

5番目の「飲料・アルコールおよび食酢」は、「ラム酒」で25年の輸入額は前年比269.6%増の51万ドル。

6番目の「コーヒー豆」は最近ベネズエラが輸出に力を入れている品目で、2025年は20.9万ドル(同30.6%増)となった。

以上

表：日本のベネズエラからの輸入額推移（2022年～2025年）

（単位：千ドル、％）

	品目	2022年	2023年	2024年	2025年	割合	前年比 増減率
1	ココア及びその調製品	6,247	6,286	8,892	51,697	89.5	481.4
	☒カオ豆	6,247	6,286	8,892	51,697	89.5	481.4
2	銅及びその製品	937	4,411	2,101	3,090	5.4	47.1
	銅のくず	937	4,411	2,101	3,090	5.4	47.1
3	魚、甲殻類、軟体動物	206	173	466	1,064	1.8	128.3
	魚のフィレその他の魚肉	0	0	0	867	1.5	全増
	☒体動物	140	173	466	197	0.3	△ 57.7
4	アルミニウム及びその製品	4,837	1,790	3,666	948	1.6	△ 74.1
	アルミニウムの塊	4,005	1,790	3,385	556	1.0	△ 83.6
	☒ルミニウムのくず	832	0	281	392	0.7	39.5
5	飲料、アルコール及び食酢	375	228	138	510	0.9	269.6
	エチルアルコール及び蒸留酒	375	228	138	510	0.9	269.6
6	コーヒー、茶、マテ及び香辛料	0	29	160	209	0.4	30.6
	コーヒー	0	29	160	209	0.4	30.6
7	鉱石、スラグ、灰	0	339	65	100	0.2	53.8
8	採油用の種・果実、工業用・医薬用植物・飼料	0	2	31	49	0.1	58.1
9	木材及びその製品並びに木炭	38	0	0	42	0.1	全増
10	美術品、収集品、骨とう品	5	19	11	27	0.0	145.5
	その他	15,041	99	22	17	0.0	△ 22.7
	合計	27,686	13,376	15,552	57,753	100.0	271.4

（出所）International Trade Center (ITC)

以上